

## 植物研究雜誌

## 第二卷 第五號

大正十年七月五日

## ○日本植物學界ノ世界ニ於ケル地位 (承前)

牧野 富太郎

或ル新聞ニ某博士著述ト某氏著述トノ書物ノ事ガ載ツテ居タガ其記シテアッタ記事デ見ルト此兩書ハ其書名モ著者モ別々ニナツテハ居ルガ實ハ兩書トモ其内容ハ殆ンド同一デ共ニ或ル一ツノ西洋ノ原書ヲ譯シタモノデアツタトノ事デアッタ今日我邦デハ種々ノ書ニ何某著トアルモノガ多ケレドモ實ハ其レハ真正ノ自著デハナクテ或ル西洋ノ原書ヲ譯シタモノガ少ナクナイ、ツマリタゞ其文字ノ異リタルヲ奇貨措クベシトシテ原著者ノ物ヲ無斷ニ剽竊シ以テ自分ノ著ト署名シテ世人ヲ欺キ金錢上自己ヲ利シテ居ルモノガ多イ即チ人ノ物ヲ我物ノ様ニ見セカケテ名譽ヲ盜ミ且金錢ヲモ貪ツテ自己ノ懷中ヲ肥ヤシテ居ルノデアル今日學者トカ教育家トカ標榜シテ居ル者ニ此手合ヒガ多ク殆ンド常習犯のニコンナ事ヲシテ居ルニハ實ニ驚カザルヲ得ナイ今世間カラ此様ナ不德義ナ書物ヲ取除イタナレバ實際日本人ノ智識デ心底カラ拵ヘタモノハ割合ニ少數デアルト想フ即チ其處ラノ博士様、學者様ニハ大抵ゴ名譽ナル 云々 〇ノ式ヲ頂戴シ得ル資格ノアルモノガ無數デハナイカト思フ假令紙數ノ多イ見掛けノ立派ナ厚イ書物ガ出來テ居ツテモ學者ガコンナコトデハ仕方ガナイ其レ故今日デハトモマダ西洋ト對等ノ位置ニハナレナイ誠ニ殘念ナコトデハアルガ何トモ致方ガナイ我植物學ノ方面デモ若シ不幸ニシテヤハリ他ノ學科ト同様ナ狀態ヲ免カレテ居ナイ様ナラバ何ハトモアレ更ニ大ニ努力シテ早ク我國ヲ西洋諸國ト對等ノ地位ニ進メルノミナラズ尙一層奮勵シテ之レニ超越スルコトヲ期待セネバナ

ラナイソシテ日本人デ編ンダ權威アル書物ナドモ續々出版セラレテ居ル様ニナラネバナラナイ  
 茲ニ一ツ言ヒタキ事ガアル其レハ植物學ヲ專攻シタ人々ノ中デ始終研究ニ從事シツ、アル人ハ割合ニ少ナク多  
 クノ人々ハ學校ノ教員トナツテ居ルコトガ多イ此等ノ人々ハ毎日ワカリ切ツタ教科書ヲ繰リ返シ繰リ返シ教ヘ  
 テ居ルノデ他ノ時間ナドモ足りナク又斷エズ其シテ境遇ニ居ルト自然ニ其人ハ境遇化サレテアマリ研究モ爲ヌ  
 様ニナツテ來ル大學ヲ卒業シテ出タ人々ハ成ルベク先生ニハナラズニ何トカシテ大ニ研究ヲ續ケ奮ツテ我本領  
 ヲ發揮シテ貫ヒタイモノデアル然シ又假令先生ヲシテ居ツテモ研究ニ執着スル心サヘアレバ何トカ亦方法ガナ  
 イデモナカラウカトモ思フ、其レカラ大學デノ學生ノ養成デアルガ此頃ハ華族ノ人々ナドモ大分入學スル者ガ  
 多イカラコンナ華族ノ連中ニハ成ルベク華ヤカナ仕事ヲ與ヘテ研究サス様ニシタラ大ニ功果ガ揚ルダウト思  
 フ一體華族ノ人々ハ大抵内政ニ窮セヌカラ金ノカ、ル様ナ研究ノ方ヘ廻ス様ニスレバヨイト思フ例ヘバ高山植  
 物ノ研究トカ地理植物學方面ノ研究ナドハ華族ノ人々ニハ最モ良イ課題デアル此地理植物學方面ノ事ヲ研究ス  
 ルニハ是非トモ東西南北ニ旅行セネバナラヌ又其出先キ出先キデ植物景ナドノ寫眞モ撮ラネバナラズ又汽車ニ  
 モ乗レバ船ニモ乘リ又場合ニヨツテハ汽船ヲ購入シテ目指ス方面ニ自由自在ニ乘リ廻ス必要モアル又人モ備ハ  
 ナケレバナラズ又參考書モ買ハネバナラヌコンナ事ハ時間ガアツテ金ノ自由ノキク人デナケレバトモ出來ナ  
 イ相談デアル我日本ハ地勢ガ南北ニ長ク横ハツテ氣候モ植物モ南北ニ從ツテ異ツテ居ルシ又西南ヨリ暖キ潮流  
 ガ我邦ノ南端ニ突ツカケ來ツテ其レヲ洗ヒ遂ニ一支流ヲ朝鮮海峽ヨリ日本海ニ分派シ又右ノ大潮流ノ路ニハ大  
 島小嶼遠近ニ碁布シ從テ其邊ノ植物分布ハ實ニ面白ク若シ數年モカケテ充分ニ能ク之レヲ研究スレバ博士ノ二  
 ツヤ三ツハ一東ニシテ貫ヘル程ナ興味アル有益ナ新論文ガ作ラレルコトハ請合ヒデアル此シテ題ノモノヲ研究  
 スルニハトモ貧乏人デハダメデドウシテモ華族ノ様ナ境遇ノ人々デナケレバ其レハムヅカシイ一體ニ華族諸  
 君ニハ身體ノ頑丈ナ方ガ少ナイカラ此ナ研究デモスレバ一面ニハ亦身體モ强健トナリテ誠ニ喜バシク所謂一

舉兩得ノ法デハナイカト思フ是等ノ學生ヲ教導スル人ガ此様ニ一面ハ學問ヘ對シテ忠實デ又一面ハ其學ヲ受クル當人ニ對シテ親切デアッタナラバ實ニ頼母シキ限リナレドモ私ハ不幸ニシテ今日其レ程マデニ手ノ届イタ教導者ヲ容易ニ見出し得ナイノヲ悲マザルヲ得ナイ、今日デハ此學生ハ體質ガドウデ嗜好ガドウデ性質ガドウデ又其家ノ經濟狀態ガドウデアアルカラ其本人ハドノ様ナ方面ヘ向ケタ方ガ學問ニ取ツテモ當人ニ取ツテモ雙方利益デアアルト云フ様ナ親切ナ遣リ方ハ餘リ無イ様ニ私ニハ見エル又私ニハ教導者ガ學生ニ對シテ右ノ様ナ拔カリノナイコトハ一向ニ考慮中ニハ加ヘズニタバチヨット考ヘテ此レヲ研究セヨ彼レヲ研究セヨト其人ノ後來ノコトナドハ殆ンド眼中ニ置カズニ徒ニ課題シテ居ルノデハナイカト見エル節モアル又中ニハ先生自身ノ爲メニ學生ガ犠牲ニナツテ何カラ研究シテ居ル様ナコトモナイデハナイカト思フコトモアル私ハ學生ノ養成ニハ其ンナ不親切ナ遣リ方デハ仕方ガナイト思フ私ハモット學生ニ對シテ溫カナ考ヲ持ツノガ必要デ即チ學生本位デナケレバナナルマイト思フ今其學生ノ性質嗜好家計ナドノ種々ノ點ヲ考慮ニ加ヘテ其學生ヲシテ適當ニ研究セシムレバ卒業後後來世ニ立ツテ働ク時ニ皆適處ヲ得テ適當ナカラ充分ニ發揮スルコトガ出來從テ我植物學ノ發達ガ庶幾セラル、譯ダト思ヘドモ今ノ處デハ適處ニ適材ガ配置セラレテ居ナイコトガ多イカラ萬事ニツケテ誠ニ遺憾ナ點ガ尠クナイ學生養成ノ任ニ當ル責任者ハ當サニ深キ考慮ヲ其間ニ致スベキデアル (未完)

## ○日本植物ノ學名上ニ現ハレタル佛國ノ士ウエルニー氏

千葉醫學專門學校醫學士 今井忠宗

邦產植物シヨカニ屬ノ一種 *Cynanchum Vernyi*, Fr. Et Sav. (= *Vincetoxicum Vernyi*, Fr. Et Sav.) 延胡索ノ一種 *Corydalis Vernyi*, Fr. Et Sav. 及 ユウキノあしがた屬ノ ユウキノ ぼたん *Ranunculus Vernyi*, Fr. Et Sav.